



北一協議体のこれまでの歩み

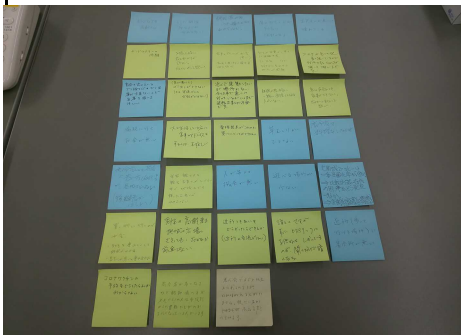
令和4年度

開催日	形態	当日のテーマ	話し合いの内容
令和4年4月6日	協議体 (29回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1層協議体への代表者選出 ・令和3年12月10日開催の、第1層協議体の報告。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度第1層協議体に参加していただき、北一第2層からの代表者を選出した。女性目線での意見も重要とのご意見もあり、畠田氏に今年度北一代表をお願いしました。 ・コロナ禍で多くの方がご自身の活動に影響が出ているとの報告があった。それと個人情報の壁で、支援を必要とされている方の声をお聞きし難くなった。さらに協議体と福祉推進協議会の関係の問題についても話し合った。異なる制度の下、似た存在である両者。しかしその下に暮らす住民は、縦型に生きているわけではない。市民の中に生きた活動としていくかが課題と思われる。この報告に対して、参加者から質問や意見の発言があった。それに対して現状会議体としての第1層は、決して意見がかみ合っているとは言い難い。参加者からは1層の中の意見を最大公約数的に決定することなく、どんなお困りごとにも向き合って欲しい。資源やお困りごとの情報は、現場の2層が把握しているので、それらを活用して市内でつなぐ役割を期待したい。
令和4年5月11日	協議体 (30回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・北一に新たに立ち上がった「北一の絆・楽しく、ささえて会」の立ち上げの経緯と今後の活動予定の説明。 	<p>「第2層協議体の活動を受けて、地域活動を具体的に地域の方が自主的にと言う言葉が注目される。これまで地域子育て支援センターとの連携する、お困りごとへのお手伝いをしてきました。コロナ禍では折り紙隊の活動で、子どもたちや保育園等との交流を深めてきました。コロナ終息時には、大人も子供もこの様な場で交流できる、その基盤づくりを進めてきました。将来的には現在準備中の庭先お茶会・オープンカフェ・子ども広場や孤食を支援する活動等を計画しています。」とのご説明をいただきました。参加者の方からは、現在進行中の活動と、今後計画する活動の双方を支えつつ、第2層協議体がそれらの情報を取りまとめて住民のお困りごとを活動と繋げるよう、コントロールする役目を担っていただけるとのご意見がありました。</p>


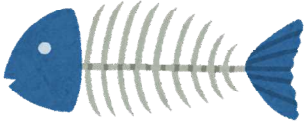



開催日	形態	当日のテーマ	話し合いの内容
令和4年6月1日	協議体 (31回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・「北一の絆・楽しく、ささえ会」について ・令和4年度コロナ禍での活動計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・「北一の絆・楽しく、ささえ会」については、活動に新たな動きがあった場合、協議体でご報告いただき、協議体は活動を見守りをしつつ、必要に応じて支援を行う。 ・活動計画の話し合いで、下記5点の提案やご指摘があった。 <ol style="list-style-type: none"> ①コロナ前に行っていた、地域資源の調査を再開する。 ②①でデータベース化した、地域資源の発信方法を検討していく。 ③第1層協議体参加団体代表者に、更にささえあい新座の事業をご理解いただき、地域資源の発信にもご協力いただく。 ④活動の対象が高齢者に偏っており、将来を見つめてもっと子どもさんと地域がつながる活動の必要がある。 ⑤「助けて」の声を発せられない人のお困り事をどうキャッチするか。
			<ul style="list-style-type: none"> ①北一第2層代表者から、下記の参加報告がありました。 <ul style="list-style-type: none"> ・もっと建設的な意見が多数出ればよかったと感じた。 ・第2層の現在の取り組みの発表は、参考になった。 ②令和4年度活動計画 <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の調査活動は、資源をカテゴリーに分類して、優先順を付け調査していく。 ・地域資源の発信方法は、持てる手段を全て駆使して、全世代へ向け発信を行う。特に未着手の学校関係を通じた周知にも着手する。 ・第2層から周知の協力も含め、第1層には協力をお願いしたいので、第1層参加者の方に市の方から、事業への理解を深める活動を期待したい。 ・第2層協議体の目線が高齢者に偏ることのないよう、定期的に現代の子育て世代の問題を関係者からお聞きしていく。 ・協議体の原点、地域のお困りごとを支える仕組みづくりを基本理念に活動していく。
令和4年7月6日	協議体 (32回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・6月27日に開催された第1層協議隊の報告。 	<ul style="list-style-type: none"> ①北一第2層代表者から、下記の参加報告がありました。 <ul style="list-style-type: none"> ・もっと建設的な意見が多数出ればよかったと感じた。 ・第2層の現在の取り組みの発表は、参考になった。 ②令和4年度活動計画 <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の調査活動は、資源をカテゴリーに分類して、優先順を付け調査していく。 ・地域資源の発信方法は、持てる手段を全て駆使して、全世代へ向け発信を行う。特に未着手の学校関係を通じた周知にも着手する。 ・第2層から周知の協力も含め、第1層には協力をお願いしたいので、第1層参加者の方に市の方から、事業への理解を深める活動を期待したい。 ・第2層協議体の目線が高齢者に偏ることのないよう、定期的に現代の子育て世代の問題を関係者からお聞きしていく。 ・協議体の原点、地域のお困りごとを支える仕組みづくりを基本理念に活動していく。
			

開催日	形態	当日のテーマ	話し合いの内容
令和4年8月3日	協議体 (33回目)	<ul style="list-style-type: none"> 改めて全員で自己紹介。 地域資源の調査と発信。 地域のお困り事を支える仕組みづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 協議体も発足から早四年を迎え、協議体のお仲間がどんな活動を日頃なさっているのかを知るために、改めて全員で自己紹介を行った。 地域資源の対象は、カテゴリ別資源一覧から選んでいく。 <p>①活動の代表者に協議体にお越しいただき、説明をお願いする。</p> <p>②①が叶わぬ際には、活動への訪問をお願いして、お許しがいただけたら取材にお邪魔して、①②共に活動情報を規定テンプレートに落としこみ、データ化して紙媒体とオンラインで地域に発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のお困り事を下記の方法で収集する活動を先ず行う。 <ol style="list-style-type: none"> 協議体参加者の日常の活動で得た情報を発信する。 地域の支援組織との連携で、情報を発信していただく。 専門職のお二人から、子育て世代情報を発信していただく。
令和4年9月7日	協議体 (34回目)	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源（お宝）探し 地域のお困りごと探し 	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源（お宝）探し <p>この日は地域で活動されている、下記の2つの活動の代表者の方にお越しいただき活動の内容や、お困りごとについてご説明いただいた。</p> <p>①老人クラブ（長寿会）の活動</p> <p>最近の20年で高齢者は増えているはずだが、老人クラブの加入者はほぼ半減してしまった。もっと多くの方、特にアクティブシニアの方に、参加していただきたい。</p> <p>②上六元気会・百歳体操会</p> <p>コロナ前は体操の他に、脳トレや唄を歌う活動をしていたが、コロナ禍では開始から一時間体操だけ行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のお困りごと探し <p>参加者が見たり聞いたり知っている地域のお困りごとを、どんなことでも付箋に書き出した。次回以降KJ法で、お困りごとを分類整理して、お困りごとを支える仕組みづくりを考えていく。</p>



開催日	形態	当日のテーマ	話し合いの内容
令和4年10月5日	協議体 (35回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源（お宝）探し MOA健康を考える会 二胡の会 ・ 地域のお困りごと探し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源（お宝）探し <p>この日は地域で活動されている、下記の2つの活動の代表者の方にお越しいただき活動の内容や、お困りごとについてご説明いただいた。</p> <p>①MOA健康を考える会の活動</p> <p>現在の活動参加者は12, 3名で、自然から学んだことを生活に活かす活動をしている。小学生とお花を生ける活動等をしている。</p> <p>②二胡の会の活動</p> <p>自分たちが二胡の演奏を楽しむのと、ご依頼があれば老人ホーム等でボランティアとして、演奏活動をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のお困りごと探し <p>参加者が地域のお困りごとを付箋に書き出し、それをコーディネーターが分類して、参加者にたたき台にするため配布した。その分類に対して吟味してみた。吟味の結果は、次回継続して話し合う。</p>
			
令和4年11月2日	協議体 (36回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源（お宝）探し オルケスタ新座マンドリンクラブ ・ 地域のお困りごと探し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源（お宝）探し <p>この日は昭和52年の創立から活動が続けている、オルケスタ新座マンドリンクラブ代表の方に、協議体にお越しいただき、創立の経緯や現在までの活動についてご説明いただきました。その後協議体参加者から質疑応答を行いました。コロナ禍で演奏を披露する場がなくなり、日程が合えばボランティアでの演奏も可能との事で、協議体終了後早速出演交渉のお話が、交わされていました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のお困りごと探し <p>9月の協議体で参加者に書き出してもらった、付箋に記した地域のお困りごと。このお困りごとを書いた付箋を分類する作業に取り掛かりました。分類方法について、参加者からの意見でフィッシュボーンを使い、アクションプランへとつなげることを決定しました。</p>
			

開催日	形態	当日のテーマ	話し合いの内容
令和4年12月7日	協議体 (37回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・ K1/北一の絆・楽しく、ささえて会の活動に第2層協力できること。 ・ 地域のお困りごと探し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ K1/北一の絆・楽しく、ささえて会の活動に第2層協議体が協力できること。 ・ K1/北一の絆・楽しく、ささえて会が、今月フードパントリーにボランティアで参加することをご紹介した。すると参加者からは、第2層としてこの活動に協力できることが、何かないかの発言があり、そのことに関して急遽話し合いを行いました。 ・ 地域のお困りごと探し
			<p>9月に参加者が付箋に書いた地域のお困りごとを、12月の協議体でフィッシュボーンを用いて整理を始めた。この日は時間が足りず、続きを1月協議体で続行することとしました。</p> 
令和5年1月11日	協議体 (38回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・ K1/北一の絆・楽しく、ささえて会の活動の近況報告。 ・ 転居の為協議他を離れるお仲間からのメッセージの意味を読解した。 ・ 地域のお困りごと探し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2層協議体をプラットフォームに生まれたK1、更にK1をプラットフォームに新たな活動が生まれている。ボランティアという。対象が高齢者になりがちだが、地域には幼いお子さんから高齢者までお住まいで、活動の継続性を考えれば異世代間の交流が、重要になる。最近の活動では、高齢者のボランティア演奏家と子供関連施設を繋ぎ、コンサートや昔遊びで高齢者と園児が共に遊ぶ活動。そして12月には初めてフードパントリーを行った。活動に参加される方が楽しんで、疲れや重荷を感じることはないことに嬉しさを感じる。 ・ 約4年半共に活動してきたお仲間が、お別れに際してメッセージをお届けいただいた。そのメッセージを深読みして、内容を全員で読解した。 ・ 地域のお困りごとの付箋をフィッシュボーンで整理を終えた。但し全体の見直しが必要とのご意見が多く、2月に見直しを行う。
			

開催日	形態		
令和5年2月1日	協議体 (39回目)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1層協議体の報告 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ・K1/北一の絆・楽しく、ささえて会の1月の活動報告。(第2層と第3層の整流化) ・地域のお困りごと探し 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1層協議体の役割の再確認と他市の事例紹介 ・ささえあい体験プログラムの実施報告 ・障がい者、高齢者、お子さんが共に参加できるスポーツの推進 <p>K1は1月に下記の活動を行いました</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月13日と14日に、地域の高齢者の方が昔のお正月あそびを披露後、お子さんと共にお正月遊びを楽しむイベントを行った。 ・1月19日には折り紙隊の活動を行った。(参加者28名) ・1月21日には当圏域での、第2回フードパントリーを行った。 <p>地域のお困りごと探し</p> <p>参加者から提案されたお困りごとを分類整理途中、各種相談先にかかわる問題を話し合った。相談先の情報は多数発信されている。どの情報をキャッチするかは個々人の判断で隣近所のお付き合いがあれば、このような場面で大きな役割を果たすことを期待できる。</p>
令和5年3月1日	協議体 (40回目)	<p>当日予定していたテーマは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のお困りごと探し <p>*当日は地域の他の会議体と日程が重なり、尚且つ年度末で欠席者が多く、急遽テーマを変更しました。</p> <p>変更テーマは「新座市が目指す支え合いのかたち」と「協議体の歩み」です。</p>	<p>協議体の開催日直前に、昨年の新生児の出生数が80万人を下回ったとの報道があり、国の予測より10年早い結果から、我々の活動もペースアップしなければ、この先生産年齢人口が予測よりも早く、大幅に不足する。地域生活を専門職だけでは支えられなくなるのは、もうすぐ目の前に迫っている。その前に地域で“お互い様”の助け合いの仕組みづくりが必要になる。そこで地域包括ケアシステム構築が必要となる。</p> <p>そして平成27年より福祉政策課が、生活支援体制整備事業の推進のためのツールとして、協議体の発足と生活支援コーディネーターを配置して、北部第一圏域第2層協議体が、この4年半どの様な活動をしてきたか、時間軸でご説明いたしました。</p>

